



▲竹かごで特別賞を受賞した伊藤常次さん

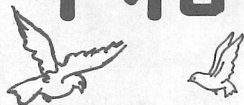
# 老人作品展 作品の最高齢105歳

町文化会館を会場に8月8日から12日までの5日間、老人作品展が開催され、絵画や工作、写真、編み物など、お年寄りの力作90点が訪れた人の目を和ませました。

この作品展は、町と老人クラブ連合会（伊藤専造会長）がお年寄りに趣味を通じてより豊かな老後生活を送ってもらおうと今年初めて開いたもので、出展者の最高齢は、町最高齢者である新島地区の伊藤常次さん105歳。作品は竹で編みあげた屑かごで、年齢を感じさせない見事な出来ばえで特別賞を受賞しました。伊藤さんは明治23年生まれ。男性では県内二番目の長寿者で、長生きの秘訣は「体を動かすこと」だそうです。これからも元気で長生きしてください。



## 平和への誓い新たに



### “平和之碑”建立5周年記念式典

戦後50回目の終戦記念日を迎えた8月15日、新島地区で「平和之碑」建立5周年記念式典が行われました。

この碑は、二度と戦争の悲劇を繰り返さないよう、恒久平和を願って平成2年に地元有志等によって建てられたもので、満州事変から大東亜戦争までに、同地区から戦争に身を投ぜられた133名の方々の名が刻まれています。

式典には、「新島平和之碑保存会」（川島謙次会長）の会員や遺族のほか、「大貫大尉戦死之地碑」も建てられていることなどから「第三十九教育飛行隊横芝会」の会員も出席。30度を超す炎天下、多くの戦争犠牲者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

▼平和之碑前で行われた記念式典で恒久平和を願いました。

